

消防トピックス

女性消防団員技術研修会開催 ～「広報」について学ぶ～

公益財団法人兵庫県消防協会

1 はじめに

近年、消防団は、地域における消防防災体制の中核的存在として、期待される役割が大きくなっており、消火・防火のほか、平常時における防災知識や応急手当の普及啓発など幅広い活動に従事しています。このような中で地域と深いつながりを持ち、きめ細やかな視点を持つ女性消防団員は、欠くことのできない重要な存在となっています。兵庫県では、女性消防団員の知識・技術の向上に加えて、県内各地の女性消防団員が一堂に会し、情報交換を行い、強いつながりを結ぶことで、県内消防団全体の活性化を推進するため、平成5年から女性消防団員技術研修会を開催しています。

この技術研修会は、年2回程度実施しており、これまで防火防災の指導方法、女性消防操法、被災者に対するこころのケアについてなど、幅広い内容を取り扱ってきました。参加者数は年々増加傾向にあり、開催当初はわずか20名弱でしたが、20年以上の月日を経て、現在は県内各消防団より常時100名前後の女性消防団員が参加しています。今回は、「広報」をテーマにした平成26年度第1回女性消防団員技術研修会を中心に御紹介します。

2 平成26年度第1回女性消防団員技術研修会開催経緯

女性消防団員にとって広報活動は、消防団活動の大きな柱の一つといえます。女性消防団員が広報に携わることで、受け手に女性ならではのソフトな印象を持たせることができ、消防団のイメージアップ

につながることを期待されるからです。

「広報」とひと言でいっても、その内容は多岐にわたります。今回は、「話し方」と「チラシや広報紙の作成」にスポットを当てることにしました。女性消防団員の皆さんは、消防団の各種行事やイベント、市民への救急講習会など、人前でお話をされる機会が多いことと、予防広報や消防団員の募集など日々の活動を市民へ発信する手段として、チラシや広報紙を、より効果的に活用していただきたいという思いからカリキュラムを考えました。

3 「広報」をテーマとした女性消防団員技術研修会を実施して

平成26年7月19日(土)、兵庫県広域防災センターにおいて、今年度1回目の女性消防団員技術研修会を開催し、県内22消防団から、95名の女性消防団員が参加しました。

研修会は2部構成で、午前の部では三田市女性消防団による活動事例発表と三田市女性消防団の樽口



三田市消防団女性班による活動事例発表



講師を務めて下さった樽口班長

消防団の活動において、人前で話す機会の多い女性消防団員の皆さんには、実践しながらの講義というのがとても楽しかったようです。「人前での話し方や良い印象を与える話し方などを学べて、とてもためになった」という感想が圧倒的に多く聞かれました。

また、美しい姿勢や歩き方といった「女子力アップ」にもつながるワンポイントアドバイスのような講義もお得感があり、参加者には好評でした。

自分自身の印象がアップすることは、所属消防団の印象を良くすることにつながるのです、とても実りある講義をしていただいたと思います。

午後からの上野先生の講義は、「広報」の基礎知識について、わかりやすい言葉で教えてくださいました。「広報」の仕方、相手への印象が大きく変わることや、「広報」とは、何より誰にでもわかりやすいことが重要であることをお話ししてくださいました。

先生が講義中で、チラシも広報紙も、「相手を思いやる気持ちを持つこと」「手紙を書くように、心



上野先生による広報の基礎知識の講義中

を込めて」とおっしゃっていたことが、とても印象に残りました。これは、あたりまえのことかもしれませんが、多くの参加者が気づかされた点だと思います。

また、事前に参加者から集めたチラシを取りあげて、どのような点が優れているか、どのような点を工夫すれば、さらに良くなるかなど具体的にアドバイスをいただけたことが参加者にはわかりやすかったようで、「とても参考になった」「今後の活動に生かしたい」との感想が聞かれました。

4 おわりに

短い時間ではありましたが、このたびの技術研修会で学ばれた内容を、参加者それぞれが自団へ持ち帰り、今後の活動につなげていただければと考えます。今後も県消防協会として、女性消防団員ならではの活動に役立ち、そして次回どのようなことを学べるのか楽しみにしていただけるバランスのとれた研修内容を考え、女性消防団員の活動の幅を広げていくお手伝いをしていきたいと思っております。